

第1回 三重がん・生殖医療研究会セミナー

近年のがん治療成績の向上に伴い、若年がんサバイバーが増加し、治療後の不妊に悩む方も増えております。三重県でも三重大学が中心となり、2017年から若年がん患者を対象とした妊孕性温存療法を開始しました。今回、がん治療の基礎から最新の話、若年がん患者への妊孕性温存療法について、講演会・症例討論を行い、知識の向上のみならず、多職種との意識の共有・連携等を図ることを目的としてセミナーを開催します。第1回は、「乳癌」をテーマとしました。医師だけではなく、看護師、薬剤師等の多くの医療従事者の参加をお待ちしております。

日時：2018年7月28日（土）

場所：三翠ホール（大ホール・小ホール）

三重県津市江戸橋2丁目174 TEL：059-232-1111（代）

プログラム

- 9:30～9:35 開会の辞 三重大学医学部附属病院病院長 伊藤正明先生
9:35～9:40 三重県医療保険部 医療政策総括監 挨拶 田丸智巳先生
- 9:40～10:10 座長：三重大学医学部整形外科学教授 須藤啓広先生
「当院における乳がん診療の概要」 三重大学医学部乳腺外科教授 小川朋子先生
- 10:10～11:10 座長：三重大学病院がんセンター長 中瀬一則先生
「若年者乳がん診療の今日この頃 ー特に妊孕性温存の実践と問題点ー」
岐阜大学乳腺外科准教授 二村 学先生
- 11:20～11:50 座長：三重大学医学部小児科学教授 平山雅浩先生
「がん患者の採卵における卵巣刺激法～ランダムスタート法による最短化～」
岐阜大学産婦人科臨床教授 古井辰郎先生
- 12:00～13:50（ランチンセミナー） 座長：三重大学医学部泌尿器科学教授 杉村芳樹先生
「本邦における、小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状」
聖マリアンナ医科大学産婦人科教授 鈴木 直先生
- 13:00～14:00 座長：三重大学病院薬剤部准教授 岩本卓也先生
「がん生殖医療における薬剤師の可能性」
がん研究センター東病院 薬剤師 米村雅人先生
「もう産めない？まだ産める？～がんと妊孕性のはざままで～」
乳がん経験者 薬剤師 牧野あずみ先生
- 14:00～16:00 症例セミナー 司会：三重大学医学部産科婦人科学教授 池田智明先生
- 16:00～16:10 閉会の辞 三重大学医学部産科婦人科准教授 田畑 務先生

※本セミナーは事前登録制です。詳細は裏面に示してあります。

※本研究会は下記の単位に認定されております。

日本専門医機構 学術業績・診療以外の活動実績(学術集会参加)1単位

日本専門医機構 産婦人科領域講習 1単位

がんプロフェッショナル養成プラン推奨セミナー

三重大学大学院セミナー

日本産科婦人科学会専門医研修会 10単位

日本産婦人科医会研修会

当日は参加費として500円徴収します。

主催：三重がん・生殖医療ネットワーク

共催：あすか製薬株式会社

三重県産婦人科医会

三重大学産科婦人科学教室

三重県病院薬剤師会

三重大学病院がんセンター



